

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-1-2	事務事業名 地域福祉活動拠点の整備	所管部課 保健福祉部保健福祉総合調整課
--------------	----------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 小学校区に1ヶ所を目標とし、高齢者・障害者・児童等が地域の中で、ささえあいネットワーク、ふれあいのまちづくり推進事業等の活動拠点とする。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)地域福祉の推進(笑1-1) (主要施策)地域福祉拠点施設の整備
	実施内容、実施方法 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会に対する運営費等補助要綱に基づく補助金交付をしている。そのうち、ふれあいのまちづくり推進事業費の対象経費に拠点整備費にを設定し補助率10/10により補助している。	根拠法令等 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会に対する運営費等補助要綱
事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )		

評価指標の設定	活動指標名 活動拠点整備費の補助金交付額	活動指標の考え方(定義) 活動拠点の借上料を補助率10/10で支援する。
	成果指標名 活動拠点の整備数	成果指標の考え方(定義) 社会福祉協議会が市補助を受けて借り上げた活動拠点の数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	600	1,200
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		0	0	600	1,200
	所要人員(B)	人			0.01	0.01
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	83	83
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	683	1,283
	単位当たりコスト (E)=(D)/(整備された活動拠点の数)	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	683.28	
歳入	千円					
活動指標	目標値	千円			600	1,200
	実績値	千円			600	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	箇所			1	2
	実績値	箇所			1	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	不明
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-1-2	事務事業名 地域福祉活動拠点の整備	所管部課 保健福祉部保健福祉総合調整課
--------------	----------------------	------------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	保谷第一小学校通学区域の活動拠点として下保谷五丁目に民間アパートを借り上げて整備し、名称を「しらうめ」として16年7月から正式運用することができた。
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	ボランティア、NPO法人等地域組織団体[ふれまち・自治会・小グループ]の活動を促進するための小規模な地域の拠点(学校の余裕教室、空家、空店舗)整備が求められている。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	・拠点となる物件の賃借料について1箇所60万円(年間)を補助の基準にしている。 ・大掛かりな施設整備を必要とせず、地域に根差した住民懇談会の活動の場として利用できる。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	交通量の少ない住宅街の路地の奥のアパートの一室ということもあり、通りがかりの方が立ち寄りという面では期待できないが、住民懇談会を中心として地域住民のコミュニティ作りの場としての利用に供している。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	拠点整備というハード面の整備に関しては、着実な推進が可能と思われるが、利用実績を上げ、真に地域福祉推進のための拠点となるソフト面の仕組みづくりが重要である。

17年度における改善点	新規に1箇所(泉町)を立ち上げた。また、商店会の協力のもと新たな拠点整備の方法について検討している。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。